

記事の要点を話し合う児童ら



谷山小学校(鹿児島市)

伝え合う能力育てる

実践校3年目。記事から読み取った情報を自分の言葉で伝える力を育むことで、学力や語彙力の向上を図っている。

各学年で南日本新聞の教育支援サイト「みなみEdu」のワークシートを積極的に活用。記事を題材に家庭で会話を広げる「ファミリーフォーカス」にも取り組んでいる。

5年3組は1月下旬、各学年に1回ある「NIEタイム」で、ファミリーフォーカスの推薦記事をそれぞれ1カ所の推薦記事をそれぞれ選んだ。グループで話し合ってから意見を絞り、同級生の前で記事内容の要約や推薦理由を発表し合った。

吉松春絢君は「記事を読むことも、新しい発見があって面白い」。担任の田代晋平教諭(39)は「物事を深く考えたり、具体的にまとめる力、表現力や思考力が鍛えられている」と手応えを語った。(中映貴穂)

「NIEコーナー」で新聞を読む生徒たち



山田中学校(始良市)

全校朝会で意見発表

本年度から実践校に加わった。目標は「学校全体で新聞に親しむ環境をつくる」。

そこで、廊下に「NIEコーナー」を開設し、手作りの閲覧台を置いて、付箋が添えられる、お薦め記事の感想を書き込んで掲示板に張るようになっていく。

また、生徒会の専門部に掲示・NIE係をつくった。毎週の全校朝会では、係の3年堂前優太朗さんが登壇し、記事の中から「今週のトピックス」を選んでいる。(有村美千代)

紹介する。核兵器禁止条約誕生を取り上げた日は、戦争についての問い掛け、意見交換。「地域の体験者に聞いて、次の世代に伝えていこう」と結んだ。「記事を通してほかの人の意見を聞き、自分の考えを深めることができる」と堂前さん。

ワークシート「読ん解く」を利用して朝学習にも取り組む。内村加代子教諭(52)は「読解力を身に付けたために継続したい」と話している。